

# ナシ生育情報

第3報  
千葉県農林水産部  
令和2年7月号

果実の大きさは、「幸水」、「豊水」とともに満開後平年比で90%前後であり、小玉での収穫が予想されます。また、収穫期は平年と比べ10日程度早くなると予測されます。果実の表面色だけで判断せずに、食味を確認して適期に収穫しましょう。

## 【気象】

### ■気象条件

気温は、6～7月を通じて、平年と比べ2℃程度高く推移しています。降水量は、6月中旬から7月にかけて平年と比べ多く、日照時間は7月が少なくなっています。

表1. 令和2年6～7月の気象（アメダス佐倉）

月	半旬	平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（hr）		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
6月	1	22.7	21.4	19.6	1	0	16	23	26	26
	2	23.2	19.4	20.1	11	78	18	42	12	23
	3	24.2	18.9	20.5	43	36	24	16	26	20
	4	21.9	22.8	20.9	46	4	29	29	43	18
	5	20.4	21.1	21.3	59	29	30	5	9	16
	6	23.4	23.3	21.9	63	16	28	14	17	17
6月平均/計		22.6	21.1	20.7	221	162	146	128	131	120
7月	1	24.9	22.5	22.7	88	19	27	17	5	19
	2	25.9	19.5	23.4	46	42	26	2	7	20

注) 平年は昭和56～平成22年の30年間の平均

## 【生育状況】

### ■果実の肥大

7月10日の果実の大きさを満開後日数の横径の平年値と比較すると、農林総研の「幸水」が91%、「豊水」が83%と小さくなっています（表2）。市川市の「幸水」では96%、鎌ヶ谷市の「豊水」では97%とやや小さくなっています。

農林総研の「幸水」は、7月10日現在、果実の日肥大量が最大になっています。それに伴い、生理的な裂果が3%程度発生しています。前年と比べて現状は少ないですが、裂果は今後も続く可能性があるため、仕上げ摘果は慎重に行ってください。

表2. 基準調査園における生育調査の結果（7月10日）

品種	調査地	樹齢	横径（cm、%）			縦径（cm、%）			着果数 個/樹
			果径	暦日	満開後	果径	暦日	満開後	
幸水	農林総研	15	6.03	(106, 110)	(91, 91)	4.94	(107, 109)	(93, 90)	274
	市川市	35	6.03	(97, 108)	(90, 96)	5.15	(99, 111)	(93, 100)	426
豊水	農林総研	40	5.36	(101, 104)	(89, 83)	4.88	(105, 106)	(92, 86)	440
	鎌ヶ谷市	36	6.06	(106, 115)	(95, 97)	5.28	(103, 112)	(94, 96)	656

注) 横径及び縦径の（ ）は、前年及び平年の値を100とした比で表した。

## ■作柄の予想

満開後 80 日の果径（農林総研）から予測される「幸水」の収穫果重は 277 g で、平年の 91% と小さめです。収穫日は、概ね開花日によって決まります。過去のデータを用いて本年の収穫始を予測すると、農林総研の「幸水」では 7 月 29 日、「豊水」では 8 月 18 日となります。

今後も日照時間が少ない状態が続くと、果実の表面色の色回りが悪くなる可能性があります。一方、梅雨明け後に急に高温になった場合は、成熟が早く進むことが想定されます。収穫前に食味を確認し、適期収穫を心がけてください。

「豊水」のみつ症は、満開後 91～100 日の日最高気温の平均値が低い年に多発する傾向にあります。農林総研では 6 月 30 日～7 月 9 日とその期間に当たります。その期間の気温から予測した「豊水」のみつ症の重症果の発生予測値は 16% と、過去 5 年平均の 14% と同程度です。みつ症が多発した昨年度の 34%（実際の発生率は 35%）と比べると、低くなっています。一方で、みつ症は 5～6 月と夏季の高温によっても発生が助長されます。本年の月別平均気温は 5 月では 1.4℃、6 月では 1.9℃、いずれも平年と比べ高いため、みつ症多発の要因となる可能性もあります。

気象庁（7 月 9 日発表）の 1 か月予報によると、気温は平年並～高く、日照時間は平年並～少なく、降水量は平年並～多いと予想されています。

## ■病害虫対策

千葉県（7 月 15 日発表）の病害虫発生予報によると、向こう 1 か月間の予想発生量は、シンクイムシ類とカメムシ類がやや多く、黒星病、ハマキムシ類、ハダニ類はいずれも並となっています。

表 3. 協力調査地における生育調査の結果（7 月 10 日）

品種	調査地	樹齢	果径 (cm, %)		新梢停止期	病害虫発生状況及び特記事項
			横径	縦径		
幸水	市原市	35	7.00 ( 103 )	5.81 ( 105 )	7月1日	黒星少
	木更津市	21	6.30 ( 95 )	5.40 ( 101 )	6月13日	
	館山市	27	6.63 ( 119 )	5.49 ( 117 )	6月27日	
	印西市	22	6.06 ( 99 )	5.05 ( 100 )	6月23日	
	柏市	17	6.32 ( 105 )	5.24 ( 105 )	6月20日	
	いすみ市	36	7.12 ( 107 )	5.69 ( 106 )	6月15日	
	一宮町	20	6.70 ( 116 )	5.70 ( 122 )	—	7月15日調査
豊水	香取市	28	6.60 ( 109 )	5.73 ( 99 )	6月17日	
	八千代市	17	5.17 ( 95 )	5.79 ( 117 )	6月20日	裂果有、病害発生並
	旭市	43	5.90 ( 101 )	4.80 ( 92 )	6月28日	病害発生並
	香取市	17	6.02 ( 114 )	5.37 ( 114 )	6月30日	
あきづき	四街道市	7	5.85 ( 101 )	5.51 ( 105 )	7月2日	
	鎌ヶ谷市	21	5.73 ( 109 )	4.97 ( 107 )	6月30日	黒星少
	船橋市	9	5.60 ( 109 )	4.61 ( 107 )	6月17日	
	松戸市	14	5.81 ( 107 )	5.97 ( 128 )	6月30日	
	いすみ市	11	5.57 ( 109 )	4.66 ( 105 )	6月25日	

注) ( ) 内の値は、前年対比を記載。

【生育情報の問合せ先:千葉県農林総合研究センター 果樹研究室 電話 043-291-9989】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.htm>